

令和7年度

エシカル消費のタネ
消費者標語

入選作品集



小学生・中学生・一般の部



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

目 次

- ＊ 令和7年度「エシカル消費のタネ」標語募集について …… 1
- ＊ サステナブルファッションについて考えてみよう! …… 2
- ＊ 入選作品
 - 小学生の部(京都市長賞1点、優秀賞1点、奨励賞4点) …… 3
 - 中学生の部(京都市長賞1点、優秀賞1点、奨励賞10点) …… 5
 - 一般の部(京都市長賞1点、優秀賞1点、奨励賞1点) …… 8
- ＊ 審査講評 …… 9
- ＊ 募集概要及び応募状況 …… 10

令和7年度「エシカル消費のタネ」標語募集について

「エシカル消費」とは、人や社会、環境、地域に配慮した消費行動のことを言います。みなさんは、商品を買う時、何を考えて選んでいますか? 「価格」「品質」「安全性」も大事ですが、環境を守り、人の権利や幸せを思いやる消費の仕方もあります。子どもから大人まで、私たちは誰もが消費者です。ひとりひとりが消費の仕方を工夫することで、ほんの少し、世界が変わるかもしれません。

さて、令和7年度の標語募集では、普段の生活と深く関係する次の2点を募集テーマとして設定し、たくさんの方から創意工夫をこらした標語を応募いただきました。



1 サステナブルファッション^(注)



2 地球温暖化を防ごう

(注) 服が作られてから捨てられるまでに関わる人々や、地球環境を大切にする「地球にも人にもやさしいファッション」のこと

この作品集には、それら多数の応募作品の中から、選び抜かれた入選作品を掲載しています。

数々の個性あふれる作品や、作品に込めた思いなどを記したコメントから、受賞者の豊かな感性に触れていただくとともに、「エシカル消費」について考えるきっかけとしていただければ幸いです。



サステナブルファッションについて考えてみよう!



#SUSTAINABLEFASHION

日本の家庭から焼却・埋め立てされる量は、
年間約50万トン。

家庭向け新品衣類の供給量

77.1万t 

家庭から手放されて焼却・埋め立てされる衣類

50.6万t 

1年間に供給される新品衣類
約7割に相当する量です。



#SUSTAINABLEFASHION

一着を長く着て
サステナブルファッション

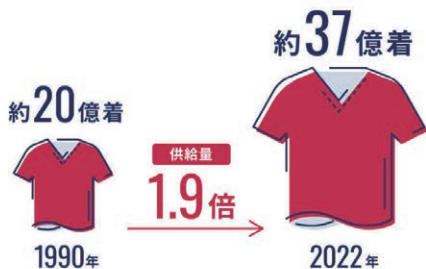


今ある服を今年捨てずにもう1年長く着れば、
日本全体で約3万tの廃棄削減につながります。



#SUSTAINABLEFASHION

1990年と比較し
衣服の購入量は横ばいですが、
供給量は約1.9倍に増えています。



大量生産から適量生産への転換が課題です。



#SUSTAINABLEFASHION

買わないことも
サステナブルファッション



2022年に約37億着の衣服が供給されました。
買わないだけでも
大量生産を見直すアクションとなります。



小学生の部

京都市長賞

3世代 次は私に その着物

木村 百花(朱雀第八小学校 5年生)



テーマ① サステナブルファッション

京都に生まれたおかげで着物を着る機会がとても多いです。
七五三まいりは祖母の着物を着せてもらえて嬉しかったです。
次は小学校の卒業式と十三まいりに母の袴を着せてもらう予定です。
成人式には祖母の振袖です。
そうやって受け継がせてもらっている事をとても誇りに思っこの標語を考えました。

優 秀 賞

これからも どうぞよろしく ぼくの服

山崎 想介(待鳳小学校 6年生)

テーマ① サステナブルファッション

大切に使ってほしいという気持ちをこめました。

奨 励 賞

まだ着れる そういう気持ち あたたかい

石村 珠希 (待鳳小学校 6年生)

「まだ着れる」というそういう気持ちだけで環境のためのことにつながるなと思ったからです。

テーマ① サステナブルファッション

買い物は 世界が変わる 第一手

井上 翔 (待鳳小学校 6年生)

買い物のやり方によって世界が変わるということを伝えそれがぼくの最初の工夫ということを伝えたくて文をかきました。

エシカルは 未来のための 合言葉

坂田 千夏 (待鳳小学校 6年生)

エシカル消費は地球を守っていくために大切に、みんなが気をつけないといけないし、未来へつづく地球をつくっていくために、という思いでかきました。

温暖化 知ってるだけじゃ ダメなんだ

森脇 ことみ (待鳳小学校 6年生)

地球温暖化について調べたとき、知っている人は多いけれど行動をしている人は少なかったなので、この標語にしました。

テーマ② 地球温暖化を防ごう

参考にしよう! エシカルなロゴマーク



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



マークの解説は
こちらへ!

中学生の部

京都市長賞



地球から いいねもらえる エコバッグ

徳田 杜生(洛北中学校 1年生)

テーマ② 地球温暖化を防ごう

そのエコバッグ1袋をもっていくだけだけど、それを全員がしたら、地球は大きく変わる、それだけ1人1人の努力が大事という気持ちをこめて書きました。

優 秀 賞

服をシェア オシャレをシェアして エコもシェア

岡本 彩良(下京中学校 3年生)

テーマ① サステナブルファッション

私は妹と母と3人で服やぼうしなどをシェアしているので、シェアすると衣口スをへらせて、いいことだらけだよということを広めたいとおもいました。

古着きる 過去と未来を 縫い合わせ

大内 要(檜原中学校 3年生)

あえて「きる」をひらがなにすることで、切って別の物にしたり着てつかう事もできる。過去と未来を服にちなんで縫い合わせる事で未来につなげる。

サステナブル 未来を守る プロジェクト

浅田 七海(檜原中学校 3年生)

サステナブルファッションとは私たち自身の未来を守るために必要な取り組みで皆もこの取り組みをしてほしいという思いをこめて書いた。

広めよう おさがり・着古し リサイクル

中川 結未(下京中学校 3年生)

おさがりや着古しなどのエシカルの考えを広めたいなという思いで作りました。私の町内はおさがりが盛んで、みんなおさがりをふつうに着ているからもっと広まってほしいと思います。

父の服 ぼくもそろそろ 着れるかな

赤井 匠(下京中学校 3年生)

中学生になり体型も少しずつ父に近づいてきているし、ファッションも昔の物がおしゃれに感じる事もあるので父の服を着るのもいいかなと思います。

やぶれても 針と糸使い 再使用

殿井 碧(洛北中学校 1年生)

服やくつ下がやぶれても、さいほうでぬうことによって、もう一度使うことができると思ったから。

テーマ① サステナブルファッション





温暖化 意識しないと ふっとう化

疋田 詩桜(洛北中学校 1年生)

温暖化のことを考えていないとふっとう化になってしまう

燃やしすぎ 地球の額に 汗たれる

澤田 結愛(檜原中学校 3年生)

資源を燃やすと、地球温暖化がすすむから、擬人化を使い、暑すぎて汗がたれると表現した。

風通す クーラー控え ^{すだれ} 簾越し

佐々木 唯翔(檜原中学校 3年生)

クーラーをなるべく使わず、自然の風で涼をとる工夫。

日本の美 春秋救う 行動を

宇津 咲良(檜原中学校 3年生)

日本の魅力である四季、しかし近年では春と秋が短くなっている。このままでは日本の良さが失われてしまう。それを救う行動を、皆でやりたい。

エコラベル やさしい未来へ ナビゲート

村田 結衣(下京中学校 3年生)

地球にやさしい未来をつくっていくためには買い物で商品を選ぶことが大切だけど、具体的に何を買えばよいか分からないと思っている人も多いと思います。

また、大人が学生だったときは、地球温暖化を意識していなかったから、これからもっとすべての人が買い物の意味を知ってほしいです。

エコラベルは、地球にやさしいことを分かりやすく表していて、人にもやさしいので、もっとたくさんの方が知って買うようにしてほしいです。



テーマ② 地球温暖化を防ごう



一般の部

京都市長賞

捨てるより まだ使えるがカッコいい

永富 真一

テーマ① サステナブルファッション

長く使える商品のリサイクルやリユースを促進することで、持続可能な社会を目指すことを、わかりやすく、年齢を問わず親しんで覚えていただける標語に致しました。

優秀賞

おしゃれやし 地球も笑顔 エコバッグ

横山 雅

テーマ① サステナブルファッション

エコバッグといえばイコール温暖化防止と繋がりますが、おしゃれの方にも目を向けて気軽に使っていけばええなあという気持ちで書きました。

奨励賞

暮らしから 未来へ届け エシカルの輪

角 美紀

日々の生活の中から小さな環境について考えていく。
その小さな問題は、やがて環境保護や社会貢献へと繋がっていく。

テーマ② 地球温暖化を防ごう

審査講評



京都市小学校家庭科教育研究会会長

太田 由佳

小学生・中学生・一般の皆様から、数多くの作品をご応募いただき、ありがとうございました。

今年度の「エシカル消費のタネ」消費者標語では、①サステナブルファッション、②地球温暖化防止という、現代社会において非常に重要なテーマが設定されました。昨年度より応募数が増え、作品を通じて身近な生活と地球環境のつながりへの関心の高さ、そしてしっかりと考えている様子が伝わり、大変心強く感じました。

サステナブルファッションに関する標語では、「長く使う」「リユース」「大切に作る」といったキーワードが多く見られ、物を大切にする心や、無駄を減らす意識がよく表現されていました。中には、ファッションを楽しみながら環境に配慮するという前向きな姿勢を示す作品もあり、消費者としての責任と楽しさを両立させる視点が素晴らしいと感じました。

地球温暖化防止のテーマでは、「このままでは地球が大変なことになる」という強いメッセージ性を持たせた作品が多く見られました。一人ひとりの小さな行動が大きな変化につながるという考え方を、児童・生徒自身が理解し、発信していることに大きな意義があります。

どの作品にも「自分にできることから始めよう」という前向きな気持ちが込められており、未来を担う世代の意識の高さを感じました。日々の消費の仕方に気をつけること、そしてできることを無理なく実践することで、持続可能な社会づくりに向けた考えをさらに深めていってほしいと思います。



京都生活協同組合 副理事長

姜 美名

「エシカル消費のタネ」消費者標語の審査に関わらせていただきありがとうございました。

私は、自分で服をぬったり、糸を編んでバッグを作ったりしています。どんなのにしようかなと考え

ることも、手を動かして作ることも、とても楽しい時間です。材料から選んでできあがったものはとても大切です。

布を切るとどうしても切れ端が出てしまいますが、お気に入りの布や糸はたとえ1センチでも捨てられません。小さな布は集めて繋げて大きくしたり、糸切れは編みぐるみに綿がわりに詰めたり、あんまり小さい布切れはすみっこ掃除用にキッチンの箱に貯めています。使い続けて傷んできた服やバッグは、洗って干して、糸はほどいて編み直したり、大人服は子供服に作りかえたり。「これ好きだなあ、大切だなあ。」の気持ちがあるから、形を変えて長く使っているんですね。編み直したお気に入りのエコバッグを持って手前どりしたら、なんて楽しくエシカルでサステナブル!あんまり詰め込んだら編み目が伸びてしまうから、買い過ぎも防げるかも。

標語には、日々の生活やお買い物から環境を思う視点が多くありました。楽しくすてきに生活を彩りながら、標語に込められた皆さんの願いを行動に移して、みんなで人・物・地球を思いやる社会を作っていきましょう。



審査委員
講評

京都市文化市民局文化市民部消費生活総合センター長

藤原 慶介

今年度で2回目となる「エシカル消費のタネ」消費者標語の募集につきまして、小学生・中学生から一般の方まで、多数の作品をご応募いただきありがとうございました。今年度は「地球温暖化」に加え「サステナブルファッション」をテーマとして掲げましたが、応募に際し初めてこのテーマの意味を知った方も多いのではないのでしょうか。標語に応募することが、皆さんの「気づき」につながれば幸いです。

さて、今回の標語募集に当たっては、中学生のみなさんから、実に1,700件を超える応募をいただきました。なかでも100件を超える応募をいただいた学校もあり、啓発活動における学校教育の重要性に改めて気づかされたところです。

作品をテーマ別にみると、「サステナブルファッション」については、親から子、子から孫へと、世代を越えて衣服を使い続けることで、衣服とともに思いが伝わるような作品を目にし、心温まる思いがしました。

また、「地球温暖化を防ごう」では、「熱中症」や「沸騰」、「やけど」といった表現を用いて、未来への警鐘を鳴らし危機感を訴える作品が、特に印象に残り

ました。このまま「温暖化」という表現を使い続けていいのか、焦りすら覚えます。

結びに、皆さんが応募作品を生み出す際に、標語を通じてどのようなメッセージを伝えたいかについて、自身や周りの家族・友人などと深く考えられたのではないかと思います。このような皆さんの行動が、社会の意識を変えていくことにつながることを、願ってやみません。

＊ 令和7年度 募集概要

名 称	エシカル消費のタネ(小学生・中学生・一般の部 消費者標語)
テーマ	① サステナブルファッション ② 地球温暖化を防ごう
募集点数等	1人2点まで(テーマの組合せは自由)
応募資格	京都市内に在住又は通学している小学生・中学生・一般の方
募集期間	令和7年7月1日から9月19日まで

＊ 応募状況

	小学生	中学生	一般	合 計
応募者数	52	1,075	18	1,145
作 品 数	101	1,749	26	1,876

(小・中学生のテーマ別・学年別内訳)

テーマ	小学生					中学生				一般 作品数
	作品数	学年				作品数	学年			
		3	4	5	6		1	2	3	
① サステナブルファッション	50	1	2	4	43	750	333	223	194	13
② 地球温暖化を防ごう	51	0	2	2	47	999	427	251	321	13
計	101	1	4	6	90	1,749	760	474	515	26

＊ 審査委員(敬称略・順不同)

京都市小学校家庭科教育研究会会長(京都市立山階小学校校長) 太田 由佳
 京都生活協同組合 副理事長 姜 美名
 京都市文化市民局文化市民部消費生活総合センター長 藤原 慶介

動画 エシカル消費(サステナブルファッション編)



動画 身近でできるエシカル消費(倫さんのお買い物編)



その他の動画については
こちらからアクセス!

令和7年度 エシカル消費のタネ 入選作品集

令和8年2月発行

京都市文化市民局文化市民部消費生活総合センター

〒604-8588 京都市中京区西堀川通御池下る西三坊堀川町521

中京区総合庁舎3階

TEL (075)366-2250 FAX (075)366-2259

ホームページ <https://kyoto-soudan.jp/>



エシカル消費に
ついてはこちら



京都市印刷物第 071917号

ベジタブルインクを使用しています。